

# 竹取新聞

株式会社 カグヤ  
東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング  
2号館10階



第96版

## 理念と実践で 絆を結びます

### 地域で見守る

### 楽しい学び合い

### 理念に紐づく発信

新宿せいが子ども園様で行われる「父親保育」では、日頃保育士さんが行っている一日の保育のすべてを園児の父兄たちだけで役割分担し体験します。



【お父さんたちで行う朝礼】  
自分の子ども以外を見守っていくことが自分の子どものためにもなっていく。  
そんな素敵なお循環がありました。

初めて参加したお父さんは「町を歩いている」とからには「安心して自分が知らないお父さんやお母さん、お友達が自分の子どもに挨拶して声をかけてくれるのがとても嬉しい」「この父親保育で、自分自身もようやく他の子どもやお父さんたちに話かけられる」といった言葉をたくさん耳にします。お父さんたちは「父親保育」を通じて「自分の子ども以外の子どもたちを見守る」という実体験と共に、周囲との絆を感じているようです。そしてその感覚は、毎日の送り迎えや通勤、スーパーでの買い物や休日の公園など、これまでの日常をさらに彩つてくれると、多くの

お父さんは話します。

このシンプルな行事が地域に生み出す作用はとても大きいと感じます。地域を巻き込んで子どもたちを見守っていただきたい。そう考える多くの園長先生方が見学に来られるのも頷けます。

藤森園長からは「安心してお父さんたちに園を任せることができるました」との言葉があり、信じ見守られているという実感がまた「絆」を深めていくのだと感じました。

そんな絆が生まれる環境づくりを私たちも大切にしていきたいと思います。



【意見交換会の一コマ】  
それぞれの発表に耳を傾けています。  
明日の保育に活かせる発表ばかりです。

今回で44回目となる保育環境セミナーが東京の竹橋で開催されました。セミナーには全国の園から定員を上回る先生方がご参加されました。プログラムでは、保育環境研究所ギビングソリー代表の藤森先生の講演、実践報告、ドイツ報告等が行われました。その中でも、例年以上に盛り上がりを見せたのが1日目の夜に行われた意見交換会です。

この意見交換会は、立食形式で他園の皆様と交流を図るひと時もあるのですが、出席された皆様に言つてセミナーで学んだことや園での取り組みなどを発表して頂く時間も設けています。

ある園の先生からは、「同じ法人園同士でスカイプを繋ぎ科学の体験をしてもらうことになりました。子どもたちから何で繋がるの?どうして?とそんな体験になるよう計画中

です!」とあり、また別の園の先生からは「子どもたちが水着ファッションショーをしていました。アート」というと何か特別な感じますが、そこにはこのように書かれています。

「子どもたちが何か普段と違った表現をしたらそれがアートだと感じてみてください。手作り楽器を鳴らしてもアート、心地よい音色の鈴が入つたおもちゃを一生懸命手に持つて振れば、それもアートです。子どもたちが楽しんでいる時には、その先のアートを見るようにしています。子どもの表現の先に何があるのか、それを見つけるのが最近の楽しみです。」

それを読んで思い出されるのは、以前、理念取材で『自分らしく生きることができる保育園』という言葉を定めた際の、伊藤理事長のお話です。「子どもたちの考え方を聴か



子どもの気持ちを尊重していることが伝わってくる内容です。

すぐにやらせるのは好きじゃなくて、だからうちの園では「表現できる楽しさ」を保障してあげたいんです。子どもたちにはきっと『これをやっているから表現しているんだよ』というのが、そんな生活を表現するから、そんな生活を表現できる子になつてもらいたいと思うっています。」

理念から考えると、園だけよりも奥深さを感じられ、園が大切にしている思いや、先生方がどのような眼差しで子どもたちを見守っているのかが保護者の方々へ伝わっていきます。私たちも理念に紐づく発信を大事にしたいと思います。

平素より弊社の商品をご愛顧頂きありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。

# CCN

Caguya Company News

## カグヤニュース



自然が作りだす色は鮮やかで目でも楽しめます。

醤油漬けとはちみつ漬け。梅雨が明ける頃には食べ頃?

※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

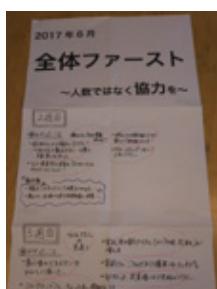
### 協力

カグヤは10人にも満たないクルーで運営している少人数組織。少數精銳といえればかつこよいですが、現実的には、協力しなければ成り立たないのが正直なところ。一般的には人数で補つところですが、そこは皆で話し合い、「チーム力で補つていこう!」と、自分たちの働き方を見直しています。

例えば、毎週金曜の朝に、1週間を皆さんで振り返る「チーム内省」も、朝から午後に時間帯を変え、これまで参加できなかつた短時間勤務のクルーも参加できるように改善を。すると、初参加のクルーから、「私たちは一人ひとりの能力は決して高くないけれど、皆が集まり協力すれば、相乗効果が生まれ、すごい力を発揮するのが自分たちの持ち味。自分ができると勘違いせず、担当にと

らわれず、ひとりで仕事を抱えないで、もっと全体に向けて出していった方がいい」と、早速協力に向かう声掛けが出てきました。

よくよく考えれば、もともと集団や協力が得意な日本人。そんな日本人の特性を活かした自然な働き方に変えていくのは、なんだかしつくりくる気がします。一緒に協力して働くことは、時々面倒だったり簡単ではありませんが、子どもたちに協力・協働の社会を繋いでいくためにも、自分たちの働き方をどんどん見直していくたらと思います。



【チーム内省】  
月の初めに「チーム」を決め、そこから毎週末皆で一緒に振り返り、翌週に繋げています。

### おやつの時間

日々、全国の園様からお話を伺いする中でよく耳にするのは「忙しい」という言葉。「忙しさに負けてしまわない」「忙しても楽しく輝いてほしい」と

思われるようになります。そうなると社内は一気に居心地の悪い空間に…。そんな時、誰と忙しさに視野が狭くなってしまうことがあります。忙しくても楽しく輝いてほしいそんなことを願いながらも、私たち自身、忙しさも一緒に皆とのゆとりの時間を大切にしながら楽しんでいこう

と思います。忙しさも一緒に楽しみで持ってきたり、近くのコンビニでちょっとしたスイーツを買っておやつタイム。家で焼き菓子を作つて持ってきたり、近くのコンビニでちょっとしたスイーツを買って

### 一期一会庵

#### 竹取物語

先日、ある認定こども園様から夕涼み会のお誘いをいただきました。それは日頃のお誘いと異なり「見学者ではなく主催者側で一緒にやりませんか」というもの。夕涼み会のテーマは「伝統を深める」ということで「竹」に親しむ内容で開催されました。「なぜ私たちが?」と思われるのですが、「竹といえばかぐや姫、かぐや姫といえばカグヤヤさん」という具合でぜひとも開催されたいのです。

竹取物語といふ物語は、本当に貴重なものだと感じます。

そしてそんな貴重な時間にクルーみんなで仕込みをしながら、梅の香りを味わったり、とりとめのない話をすることで、熟す前の限られた時間に頂ける自然の恵みは、本当に貴重なものだと感じます。

いつまでもその香りを味わっていたところですが、匂を逃してしまったため早く仕込みを開始です! 今回は醤油漬け、はちみつ漬け、らっきょう酢漬けの三種類にチャレンジしてみることに。梅干しを作る際は黄色く熟した梅を使いますが、梅漬けには青梅を使うということが、竹取物語といふ物語と似ています。竹は日常の暮らしの外に追いやりました。しかし昔は自然の資源を取りすぎれば災害になることを先祖は知っていました。竹は常に日本人の身近な暮らしの中にあり、日本文化の中心でもあったように感じます。長い間、私たちの暮らしを助けてくださった存在だったからこそ、竹の持つ神秘さが語り継がれてきたのかもしれません。日本に欠かせない竹を、かぐや姫の物語を通して伝承できるのも有難く思います。この物語のように私たちも千年の長さで物事を観て、子どもたちのためにも社業に邁進していきたいと思います。

かりり…。するとその気配を感じて、他の誰かがお茶を淹れ、社内には一瞬で笑顔が溢れます。些細なことですが、誰かに心を寄せてもらえているという安全感が気持ちを開かせるのかも知れません。これからも皆とのゆとりの時間を大切にしながら忙しさも一緒に楽しんでいこう



レモンのパンチの効いた酸味と皆を想う心で癒し効果抜群!

### 編集後記

今月もご覧頂きましてありがとうございます。蒸し暑い日々が続きますが、夏ならではの楽しみを見つけ、暑さを乗り切っていきました。皆様どうぞ自愛下さいませ。



カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

#### 本社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング2号館10階  
tel.03-5909-7155  
fax.03-5909-7199

#### カグヤウェブセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.03-3518-6217  
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389

URL: <http://www.caguya.co.jp>  
E-mail: [support@caguya.co.jp](mailto:support@caguya.co.jp)  
受付時間 月～金 9:00～18:00  
(土・日曜祝祭日を除く)